

国際ロータリー第2590地区

例会： 毎週月曜日 12:30
 例会場： サンピアンTEL： 044-222-4416
 事務所： 〒210-0011川崎市川崎区富士見1-7-16 第一吉新ビル2F
 TEL： 044-233-3005 FAX： 044-233-8460



HP : <http://www.kawasaki-chuo-rc.com/>
 E-mail : chuorc@jasmine.ocn.ne.jp



会長
後藤 雅晴



副会長
渡部 典行



幹事
石川 三枝子

第1428回 平成29年2月20日 VOL.32 No.27

川崎中央ロータリークラブ WEEKLY

- 司会……安東S A A
- 点鐘……後藤会長
- ロータリーソング 佐野ロータリーソングリーダー
「奉仕の理想」

○本日のメニュー 和食

ビジター紹介

(川崎RC) 坂本将平親睦活動委員長
 (川崎マリンRC) 杉山信雄様
 秦 明 様

出席報告

須山出席委員長

	会員数	出席 該当者	出席者	欠席者	ホーム クラブ	メイク	前々回 修正
1428回	34	33	26	7	78.79		
1425回	34	34	27	7	79.41	2	85.29

(森本会員・本多会員)

会長報告

後藤会長

1. 2月16日(木)に地区主催の第2回会長・幹事セミナーがあり出席しました。
2. NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会が他地区合同奉仕活動であることを承認してほしいとのことです。
3. セミナーのテーマは「活発な活動の在り方」グループ別討論会が行われた。
4. 地区ガバナー事務所から4月22日(土)開催予定の「ロータリー経営大講演会」の参加呼びかけが来ており、参加希望者事務局へご連絡ください

幹事報告

石川幹事

- ◎ 例会変更のお知らせ
ありません
- ◎ 週報を送ってくださったRC
ありません
- ◎ 本日の配布物
2/13の会報

委員会報告

伊藤康人R財団委員長

R財団寄付の目標額が達成しました。

松本寛青少年奉仕委員長

2/18～19日-青少年指導者養成プログラム
(Rotary Youth Leadership Awards) RYLAライラ
参加報告

スマイルレポート

渡部副会長

- 杉山信雄様…久しぶりのメーキャップです。よろしくお祈りします。(川崎RC)
- 秦明様…久しぶりにメークに来ました。よろしくお祈りします。(川崎RC)
- 後藤会員……①今日は、青山様のお話を楽しみにしております。
②北朝鮮の暗殺事件はびっくりです。若い女性が近づいてきたら逃げましょう。
- 石川会員……①先週はお休みをさせて頂きました。甥の結婚式でハワイに行ってきました。
②青山様本日の卓話よろしくお祈り致します。
- 野口会員……①今日はお大師様にお礼納めをしてまいりました。ご利益がたんとうありました。
②1月は誕生日のお祝と家内に花をありがとうございました。
③青山様卓話よろしくお祈り致します。
- 関会員……春2番が吹き荒れています。ようやく春ですね。
- 飯島会員……青山様卓話楽しみです。
- 青木会員……青山正彦先生本日の卓話よろしくお祈り致します。
- 木村会員……昨日は、東田の神社でお祭りでした。孫二人を連れて出かけました。夢見ヶ崎動物園にも足を運びました。久しぶりにのんびりしました。
- 棚沢会員……①青山様本日の卓話よろしくお祈り致します。だんだん暖かな日がふえてきました。春はすぐそこまで来ていますね。
- 森本会員……よろしくお祈りします。早退します。
- 松本会員……青山様未来を担う子供たち卓話勉強させていただきます。
- 伊藤(弘)会員…これまで奥さんと2人の会社をやってきましたがいよいよ営業と鑑定士を1人ずつ雇って普通の会社になります。

初めて社員を雇うことになり色々皆様に教えていただきたいこともございますのでご指導のよろしくお祈りします。

- 福与会員……先々週お誕生日祝いありがとうございました。
- 渡辺会員……青山様卓話よろしくお祈りします。
- 山口会員……皆様こんにちは。いよいよ今週からサッカーが始まります。皆さん川崎フロンターレの応援をよろしくお祈り致します。
- 佐野会員……今日は風が強いですね。こんな日はボールが曲がるんです。ゴルフやりましょう。来週卓話イヤダナー。
- 牧島会員……今朝、長男の長男が誕生 面会してきました。母子ともに健康ありがたいことです。
- 安東会員……青山正彦様卓話よろしくお祈り致します。
- 本多会員……昨日寒川神社へ遅い初詣に行ってきました。お天気も良かったのものですごい人出にびっくりしましたがお参りできて心が落ち着きました。
- 渡部会員……NPO法人こども未来塾青山様卓話よろしくお祈り致します。

1427回	21件	30,000円	累計	427件	740,000円
-------	-----	---------	----	------	----------

卓話

この国の未来を担う子

供たちのために

～放置できない、子どもの貧困と、大人が出来ること～

NPO法人こども未来塾 理事 青山正彦様

彦様



1. はじめに【自己紹介を兼ねて】

2. 子どもたちは、

どのような時代を生きているのか

(1) ストレスをため込む子どもたち

- ① 不登校の児童生徒は、全国で12万3千人
(文科省:2015年8月)
- ② 15歳~39歳のひきこもりは、70万人
(内閣府:2010年7月)
 - 15~34歳のフリーターは、180万人
 - 15~34歳の若年無業者は、63万人
- ③ 暴力行為 小中高校で5万4千件
(文科省:2015年9月)
 - 全体としては、前年よりも5,103件減少
 - 生徒間暴力が60%、対教員16%、器物損壊21%
 - 小学生の暴力行為は、4年連続で増加し、7年間で3倍、1万1,500件
- ④ いじめ 小中高校での認知件数は、18万8千件
(文科省:2015年10月)
 - 小学校で急増、12万3千件
 - いじめを認知した学校数は2万1,641校で、全学校数割合は56.5%
- ⑤ 自殺 小中高生は、1年間に329人
(内閣府2015年10月)
 - 大学生・専修学校生等も合わせると、1年で866人
 - 15歳~39歳の各年代における死因の第1位は自殺 (内閣府:2015年)

(2) 子どもたちを取り巻く環境

- ① 2極化する家庭環境 ネグレクトvs過干渉

- ② 一方で、過干渉の親が増加。「正しい親」を頑張ろうと、子どもを追詰める
- ③ 広がる格差、この10年で「貧困」が加速
 - 子どもの貧困率6人に1人
 - 子どもの貧困率16.3% (厚労省:2012年)
 - OECD加盟国34か国中33位
 - 生活保護世帯の子どもの高校進学率90.8%。全体では98.6%
 - 世代を超えた貧困の連鎖
 - 国民生活基礎調査では、貧困率を測るものになる所得は、2012年について調査。貧困とは、世帯の1人当たりの所得が、社会全体の真ん中の所得の半分に満たないこと。社会全体の1人当たり所得の中央の値は、2012年には244万円、その半額は122万円。

2012年には人口全体の16.1%の人々の所得が、この122万円という貧困基準を下回る。1986年にこの調査が始まってから、最悪の数字。18歳未満の子どもで、貧困基準以下の世帯に暮らす割合は16.3%。これも過去最悪。16%というのは、約6人に1人、40人のクラスなら6.5人。

- ④ 生活保護世帯31.7%、ひとり親家庭41.6%、児童養護施設出身の子供の大学等進学率22.6%は、全世帯73.0%に比べて相対的に低い。

3. 子どもたちのSOSを

キャッチするために

(1) 子どもはなかなか言葉に出して助けを求めることは出来ない。

- ① 辛いことほど飲み込む。思い出したくない。
- ② 大人に心配をかけまいとする子ども。
- ③ 自分のプライドが、助けを求めることの邪魔をする。
- ④ なかなか相談機関を利用しない子どもたち。

(2) 発見する相談

(大人が待っていても相談に来ない子どもたち)

- ① 地域の中に「子どもの居場所」を増やすことがとても重要
- ② 「やってみたい」ことに挑戦できる環境

- ③ お腹をすかせた子ども。帰りたがらない子ども。何日も同じ服を着ている子ども。
- ④ 子どもの異変をキャッチ出来る、アンテナが立っている大人の存在が必要

(3) 学校以外の居場所

- ① 不登校・ひきこもり傾向の若者の居場所づくり
 - 年齢、国籍、障がいの有無、非行傾向に関わらず誰もが無料で通える
 - 障がいのあること共に育ちある環境 「困った」子なのではなく、「困っている」子
 - 発達障がいの理解 子どもを変えようとするよりも、周囲にこの子のありのままを分かってくれ る理解者を増やすことの方が大事
- ② 非行傾向の子ども・若者を排除しない。関わりを続ける。

(4) 「子ども食堂」の持つ力で、暮らしを取り戻す

- ① 「問題行動」繰り返す子どもの多くが、空腹を抱えている。
- ② 暮らしが壊れてしまっている子どもたち。
- ③ 「おいしい、うれしい、たのしかった」で繋がれる。
- ④ 異年齢が混ざり合っ て食べることの豊かさ。
- ⑤ 「ひとりじゃない」を実感。煮詰まらずに、暮らしの中に「風」を入れる。

(5) 学校の中に子どもの居場所をつくる

- ① (当然ですが) 教員に欠ける福祉的視点。福祉に関する知識やスキルの不足。
- ② 「正しい」指導で、子どもは正しく行動出来るようになるのか。
- ③ 「正論」を言われただけでは、子どもは育たない。
- ④ 度を過ぎた「正しさ」にこだわると、追い詰められた子どもの暴力を誘発。
- ⑤ どんな子どもにも、プライドはある。プライドをつぶすと、自分の問題に向き合うのに時間がかかる。場合によっては、向き合えない。
- ⑥ 「学び」を成立させる前提には、安心して寝られる、食べられる「暮らし」が保障されていることが大切。
- ⑦ 「問題行動」の背景にあるものに想いをめぐらす。
- ⑧ コントロールではなく、(貧困を理解した上で) サポート中心に。

- ⑨ 既存の制度や仕組みに無理やり合わせるのではなく、子ども・若者の「いのち」の方へ制度や仕組みを引き寄せる。
- ⑩ 学校・家庭・地域をつなぐ、ソーシャルスクールワーカーの重要性
 - SSWの安定雇用・増員が必要
 - 抱え込まずに、様々な関係機関をつなぐネットワークづくり

3. 私たち大人に出来ることのまとめで

す。

(1) 自分の話をしっかり聴いてくれる大人の存在を身近に感じる事が出来た時に、初めて自分の問題に向き合おうとすることが出来る。

(2) 子どもの「怒りの感情」の理解

- ① 子ども自身にも理解できない怒り
- ② 不当な扱いを受けにもかかわらず、聞いてくれる人もなく、理解されることも、共感してもらうこともなく、放っておかれた子どもたち⇒苦しい、孤独、切ない、恐れ、寂しさ。ある時怒りに変わる⇒本来怒りではない感情が怒りに変わる⇒ わけのわからない怒りになる⇒周りにはもっとわからない⇒ ますます怒られる悪循環
- ③ 子どもの「試し行動」と向き合う。「僕を見て、私に気づいて」のシグナル

(3) 子どもたちは失敗から多くのことを学ぶ。

- ① 安心して失敗出来る環境を用意する。
- ② 「加害者」もかつては「被害者」であったケースが圧倒的に多いということを理解する。
- ③ 弱音が吐ける、「助けてが」出せることの大切さ。
- ④ 存在が希薄な子どもたちは、存在を伝えたくて、わざわざ問題行動を起こす。存在を根付かせる。つながりを生み出す取り組みの必要性。



卓話予定

2月27日(月)

ロータリーソング委員長

佐野嘉男会員

今週の担当者

棚沢聡会員

会報委員 棚沢 聡 阿野 順一 牧島 聡
伊藤 弘志 松本 寛
木村 教義 森本 邦康 本多 みちよ
事務局 伊藤 清恵

川崎中央ロータリークラブWeekly
Vol. 32 No. 27
編集・作成 川崎中央RC事務局
発行日 平成29年2月20日